地域における公益的な取組（令和４年度）

取組の名称	実施日	実施施設名	内　　容
地域連続講座の開催	開催見合せ	伏見障害者デイサービスセンター	地域の訪問看護事業所と共催し、医療と福祉を考える場として地域の方を対象に定期的に（年に数回）開催しているが、昨年度より新型コロナ対策のため開催を見合わせている（再開は未定）。
第19回地域ふれあい夏まつり	11月開催	洛南身体障害者福祉会館 洛南障害者授産所 ほか	地域の関係機関や事業所と連携して，洛南会館・授産所・南老人福祉センター等を会場に，地元の幼児・小中学生も参加するなど地域の方が多く集い交流する夏まつりを毎年開催しているが，本年度は新型コロナ対策のため規模を縮小し、11/3に秋まつりとして実施した。
地域交流スペース「楽」を設置・運営	開催見合せ	東野障害者福祉センター	毎月第2・4火曜日の午後2時～6時にセンター内のデイルームをフリースペースとして開放し地域住民が交流できる場を提供。同時に笑いヨガ教室を午後2時15分～午後3時まで開催。（新型コロナ対策のため開催を見合わせた。再開は未定）
「地域の方の居場所づくり」活動として，講習会や文化教室を開催	随時開催	洛南身体障害者福祉会館	地域の方の居場所づくり活動として，「大人のための頭塾」「マット運動＆室内スポーツ」「バランスヨーガ教室」を定期的に開催。また、「スケッチ教室」「スマホ相談会」などの講習会を開催。「健康麻雀教室」は開催を見合せている（再開は未定）。
ワンコインパソコン教室の開催	開催見合せ	洛南障害者授産所	施設利用者がパソコン講師となり，地域の方などが500円で受講できるパソコン教室を毎年開催しているが，新型コロナ対策のため今年度は開催を見合わせた。
地域向けコミュニティ誌の発行	令和4年4月発行	洛南障害者授産所	地域向けコミュニティ誌「あーる・じぇい」第20号を4月に8千部発行し地域に新聞折り込みで配布した。
ボランティア受入れ	通年	洛南障害者授産所	就労チャレンジ体験終了者（高齢者）や、社会福祉実習を終えた学生等を作業ボランティアとして受け入れた。コロナ禍で交流の機会が少ない高齢者の方にとっては所内での活動を通してやりがいや生きがいに繋がった取り組みとなった。
地域交流スペース「ひだまり」の設置・運営	開催見合せ	ふしみ学園分室「ひだまり」	ふしみ学園分室「ひだまり」で各種教室やサークル活動を行うとともに，地域の方が集えるスペースとして開放し，接客は施設利用者が行っているが，新型コロナ対策のため開催を見合わせた（再開は未定）
福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」の運行	通　年	福祉有償運送「京都ラクシヨーネ」	主に山科区内及び京都市周辺区域において，移動が困難な障害者や高齢者向けに，送迎車両を利用して低額な料金で輸送サービスを提供した。コロナへの感染対策を講じながら，年中無休で車両運行を実施した。今年度の新規登録者は約60名、年間運行件数は約5,300件で昨年とほぼ同数のサービスを提供した。
「ふれあいギャラリー」、「ボランティア講座」、「フリースペース」等の開催	随時開催 一部開催見合せ	山科身体障害者福祉会館	地域の方の絵画・刺繍などの作品を常時展示する「ふれあい誰でもギャラリー」を通年開設し，地域との交流の場を設けた。恒例の「ふれあい音楽広場」、「視覚障害者ボランティア入門講座」については，新型コロナ対策のため今年度も開催を見合わせた。また、「フリースペース」はコロナ禍により実施できないこともあったが、２０回実施し、毎回３０人程度の地域住民や施設利用者が親睦と交流を深め

取組の名称	実施日	実施施設名	内　　容
「ふらっと相談カフェ」の開催	毎月第一水曜実施	だいご学園	だいご学園「Cafe &shopふらっと」で、月に一度(第１水曜日午後1時～3時)、醍醐いきいき市民活動センターとのコラボ企画として、市民活動・地域活動に関する相談や福祉に関する悩みごと等を気軽に相談できる「ふらっと相談カフェ」を開催。 知り合いで障害のある方の生活をどうしたら良いか、自分の特技を活かして人の役に立ちたい、近所の高齢のご夫婦が二人では生活ができなくなっている等、様々な声を拾いあげ、関係機関につなぐことができた。
「だいご健康体操」	毎週水曜日10時	だいご学園	だいご笑顔つながるプロジェクトで地域や関係機関の方と共に作ったオリジナル体操「だいご健康体操」～悠久の歌～を用いて毎週水曜日１０時～実施。夏期期間（８月）はお休みしていたが、９月より再開。７月９日、１０月９日、１１月２０日、２月２６日には、イズミヤ六地蔵店イズミヤマルシェ」の「ダンス＆パフォーマー」コーナーへ出場し、「だいご健康体操」を地域や利用者の方と共にお披露目し、普及に努めた。
ボランティア受入れ	通　年	洛南障害者デイサービスセンター「あすなろ」	日中一緒に活動して頂くボランティア２名を受入れ。仕事を引退された後の日々が「あすなろ」を通じ充実した生活の一部となるような居場所を提供。 ボランティアを受入れ交流する事で当事業所の利用者、職員にとっても刺激となり、一緒に活動する事で新しい発見を見出す。【毎日来て頂いているボランティア1名（年間148日）・週1日来て頂いているボランティア1名（年間40日）】
ともにいきる地域をめざす　プラットフォームづくり	4月、6月に実施後、開催見合わせていたが、2月に開催	支援センター「らくなん」	令和元年度から南区内のネットワークづくりの一環として南区社協、南区役所、洛南障害授産所、「らくなん」を事務局とし、ネットワーク会議を実施している。令和4年度は、4月26日に役所で会議を開催。プラッフォームで取り組みたい事について意見を集い、連絡・情報交換のツール「ディスコード」の学習会として6月2日に会議を開催。以降、コロナウイルス感染拡大の影響から、開催を見合わせていたが、2月に入り、中部障害者自立支援協議会と共催で「災害時の支援を学ぶ」研修会を開催した。南区総務防災担当係長に話題提供頂き、当事者の方も参加頂いた。
みなみな展示会	11月開催	支援センター「らくなん」	「南区こころの健康を考える会」（ネットワーク事業）の一環として南区役所にて「みなみな展示会」を開催。精神障害者の作品やその他福祉施設の作品を展示することを通して、精神・知的・身体障害に対する理解を深める機会、区民相互の交流やふれあいの輪を広げる契機となるよう願い、開催した。
「あそびの広場」の開催	上期、7月24日実施 下半期は3月20日実施予定。	支援センター「らくとう」	地域の関係機関と連携し，障害のある子どもたちの長期休み期間中に，「障害のあるこどもたちの余暇支援」と「保護者同士の交流」を目的に，「あそびの広場」を開催しているが、今年は夏１回(野外活動センターにて)実施。春１回（室内施設を借りて）実施予定。
東山区こころのふれあい作品展	9月6～8日開催	支援センター「らくとう」	東山区こころのふれあいネットワーク事業の一環として，「東山区こころのふれあい作品展」を開催。精神障害者の作品やその他福祉施設の作品を展示することを通して，精神・知的・身体障害に対する理解を深める機会となったり，区民相互の交流やふれあいの輪を広げる契機となるよう願い，開催してきた。昨年はホームページ上での開催であったが、今年は従来通りの実施となった。

取組の名称	実施日	実施施設名	内　　容
小学校における車イス体験	開催見合せ	伏見障害者授産所（伏見障害者デイサービスセンター）	施設周辺の小学校生に対して、障がい者理解・施設理解を深める目的のため伏見区社会福祉協議会と共催の下、各小学校に出向き車イスの操作方法などの講義を行っている。例年、利用者の方も講師として出向いているが今年度は新型コロナ対策のため開催を見合わせた。
町内会のゴミ収集場所の提供と清掃	通年	グループホームふしみ寮	地域の一員として町内会に加入、ふしみ寮鍛冶屋町の前の道路を町内のゴミ収集場所として提供し、収集後に収集場所の清掃を行い、町内会に貢献している。
受刑者の清掃作業（車両）の受入れ	10月18日	伏見障害者授産所	京都拘置所と社会貢献作業の協定書を締結し，受刑者の清掃作業（車両）の受入を行った。
ボランティア受入れ	通年	京都市山科障害者授産所	地域の高齢者の方にボランティアとして自主製品の縫製加工を依頼した。月１回所内で活動してもらっている。また縫製加工をお願いし、仕上がった商品を授産所まで届けてもらい活動を継続してもらった。 コロナ禍で交流の機会が少ない高齢者の方にとっては自宅や所内での活動を通してやりがいや生きがいに繋がった取り組みとなった。
毘沙門市 ～最澄さん～	令和4年 4月2～3日 11月26～27日	京都市やましな学園	毘沙門堂門跡寺院の協力のもと、参拝者が多い春の桜の時期と秋の紅葉時期に合わせ、地域の福祉施設の授産製品と地元作家の手作り商品等の販売促進及び活動紹介の場づくりを目的に、実行委員として毘沙門市～最澄さん～を開催しました。
ボランティア講座 ～知的障がいのある人とともに～	令和4年 8月～令和5年2月	京都市やましな学園 京都市山科障害者デイサービスセンター	知的障がいのある人とその家族が安心して暮らせる「まちづくり」のためには、周りのちょっとした支援が必要です。引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、動画等で知的障がいのある人の暮らしや区内の施設・団体を知ってもらうことを目的に開催しています。本講座をきっかけに、地域で助け合える関係を受講いただいたみなさんから広めていただけるよう、山科区社会福祉協議会や圏域内の施設と共同で開催しています。
障害者週間イベント 『第１回 ふれあいフェア山科 やっぱり冬まつり』	令和4年 12月3日	山科身体障害者福祉会館 山科障害者授産所 やましな学園 山科障害者デイサービスセンター 支援センター「らくとう」 だいご学園	京都市山科合同福祉センターでは、地域のぐるっとふれ愛まちフェスタと連動して「やったね！秋まつり」を開催してまいりましたが、今年度もコロナ禍にあるため中止することとなりました。 感染状況に関わらず徐々に社会活動が再開される中、地域社会との繋がり・貢献を継続するべく、この度 障害者週間の時期に合わせて12月3日(土)に『第1回　ふれあいフェア山科　やっぱり冬まつり』を開催しました。当日は、法人内の山科エリアを中心とした事業所が自主製品を取り揃えて出店する他、ワークショップや展示会、情報提供コーナーなどを企画し開催しています。